

グリーンイノベーション（創・変・蓄・活）創出のための UOsaka-X（Transformation）

令和8・9年度 若手研究支援プログラム 募集要項

1. 趣 旨

本プログラムは、カーボンニュートラルと資源循環を重畳した大阪大学独自のサーキュラーエコノミー技術を達成し、更に社会実装を目指すため、若手研究者に当該分野における研究を推進する機会を提供し、グリーンイノベーション（創・変・蓄・活）を創出することを目的とする。

2. 採択数と研究費

グリーンイノベーション（創・変・蓄・活）にかかる研究開発として合計20件程度を採択する。研究費（運営費交付金）は1件あたり200万円を上限として支給する。

応募者は、以下の①～⑦のカテゴリーのいずれか一つを選択して応募し、重複申請は認めない。各カテゴリーから均等に採択するが、申請件数や申請予算額等を考慮し、採択件数ならびに採択金額は変動することがあり得る。

<募集カテゴリー>

- ① 高効率太陽光発電・風力発電などの次世代再生可能エネルギー電源開拓
- ② 高性能蓄電池・水素・アンモニアを用いた高効率エネルギー貯蔵利用技術創成
- ③ 資源循環実現のための新物質・転換プロセス創成
- ④ 再生可能エネルギー由来余剰電力の高付加価値利用
- ⑤ 水電解（水素生成）時に同時生成する純酸素の高度産業利用
- ⑥ カーボンニュートラル・資源循環を実現する経済合理性を有する社会システム構築
- ⑦ 上記①～⑥の範疇に留まらないグリーンイノベーション（創・変・蓄・活）研究開発

注）「グリーンイノベーション（創・変・蓄・活）創出のための UOsaka-X（Transformation）令和8・9年度 若手共同研究支援プログラム」との重複申請を認めるが、採択はいずれかのみとする。

3. 審査基準

主に以下の点を考慮し、総合的に審査を行う。

- ① 研究テーマの設定に妥当性があるか
- ② 研究目的及び内容に学術的な意義と独創性、新規性が認められるか
- ③ 研究実施計画の実行可能性は妥当か
- ④ グリーンイノベーション（カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー）創出に対する貢献が見込まれるか
- ⑤ 研究成果において、社会実装、社会課題の解決等の社会インパクトが期待できるか

4. 応募要項

1. 応募対象 工学研究科、基礎工学研究科、産業科学研究所、社会ソリューションイニシアティブ、社会技術共創研究センター、生物工学国際交流センターに在籍する教員（特任を除く）で令和9年4月1日現在で40歳未満の者。
（ただし、産前・産後休暇、育児休業等による休暇期間等がある場合、当該期間を考慮し、年齢制限について以下のとおりとする。）
 - ・育児休業等の取得合計期間：1年以下
→ 令和9年4月1日現在で41歳未満の者
 - ・育児休業等の取得合計期間：1年を超えて2年以下
→ 令和9年4月1日現在で42歳未満の者
 - ・育児休業等の取得合計期間：2年を超えて3年以下
→ 令和9年4月1日現在で43歳未満の者
2. 応募方法 所定の申請書（電子ファイル）を下記まで提出ください。
申請書は、<http://www.cfi.eng.osaka-u.ac.jp> → トピックス最新情報 → 若手研究支援プログラム からダウンロードできます。
[提出先・問い合わせ先] CFI グリーンイノベーション事務局
Mail : green-innovation@cfi.eng.osaka-u.ac.jp
3. 応募期間 2026年10月22日(木) ～ 12月16日(水)
4. 採択時期 2027年2月中旬～下旬(予定) (次年度予算配当分による採択の場合には通知が2027年4月となる場合があります)
5. 研究期間 採択後～2028年3月31日 (次年度予算配当分による採択の場合には研究開始が2027年4月となる場合があります)
6. 留意事項
 - ①応募用紙の記入にあたっては、異分野の研究者であっても十分に理解できるよう、使用する用語等に配慮すること。
 - ②グリーンイノベーションシンポジウムなどの諸活動への参加を求められます。
 - ③研究期間終了後、1カ月以内に所定の報告書を提出してください。また、得られた成果について報告会を実施します。